

# Ex17 (2023/04/28)

- $n, m$ を入力し、 $n \times m$  ( $n, m < 100$ )マスからなるゲーム盤面を二次元配列と考える
- 各マスに白か黒を配置する
- 上下左右で隣り合うマス同士が異なる色となるように、二次元的に出力するプログラムを作成せよ
- なお、白いマスを1, 黒いマスを0として、二次元配列に格納したうえで出力すること
- また、左上隅を黒とすること
- 例として,  $(n, m) = (10, 12)$ の場合を出力せよ.

## 3×4マスの場合の実行例

```
Row of Matrix? 3  
Column of Matrix? 4  
0101  
1010  
0101
```

# Ex18 (2023/04/28)

- 以下に、a, b, c, dの4名の数学、英語、国語の成績（1～100点）を示す
- この成績を二次元配列データとして、各科目の平均点、各人の平均点を出力するプログラムを作成せよ
- 二次元配列データはあらかじめプログラム内に定義すること

学生/科目	数学	英語	国語
a	80	90	80
b	70	80	85
c	95	60	70
d	50	70	75

# Ex19 (2023/04/28)

- 配列を用いて以下の行列 $A, B$ の積を求め、出力するプログラムを作成せよ
- 行列はあらかじめプログラム内に定義する

$$A = \begin{bmatrix} 2 & 3 & 4 \\ 1 & 0 & 1 \end{bmatrix}$$

$$B = \begin{bmatrix} 1 & 2 \\ 1 & 0 \\ 3 & 1 \end{bmatrix}$$

実行結果

?, ?
?, ?

# 課題の提出

- T2SCHOLAで課題番号ごとに以下のファイルを提出.
- Cのソースコードファイル. 関数定義が複数あっても, 一つの課題番号に対して一つのファイルとする.
- ファイル名:
  - 「<学籍番号>\_prog<講義日の日付>\_ex<課題番号>\_v1<バージョン, 最後のみ採用>.c」
  - 講義日の日付は4桁、課題番号は2桁
  - 例: 20B01234\_prog0416\_ex01\_v1.c
  - ~.c.c とはしない

# 課題の提出

- T2SCHOLAからの提出がうまくいかない場合は、  
上記ファイルの内容を担当教員にメールで提出
- 課題の提出期限は、次回講義の前日の3時まで
  - 火曜の課題は木曜、金曜の課題は次の月曜まで
  - それ以降もこの講義の最終レポートの締切日まで受け付ける

- 締切後の提出先

